

9月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



9/6 「ビーバーまつり」をテーマに、部屋の中におまつりの屋台のようなブースが誕生！射的と魚釣り、バルーンアートのブースをまわって遊びました。



射的は自分で割り箸を使ってパチンコを作り、お菓子の的を狙ってみました。なかなか弾が狙い通りには飛ばなかったけれど、コツをつかむと狙った通りにあたるようになりました。魚釣りも道具作りから。紐を竹ひごに結び、魚も自分たちで作って遊びました。まき結びという結び方で竿に紐をつけてみました。魚も自分たちが描いた魚です。いろいろな種類の魚が集まりました。バルーンアートのコーナーでは剣や犬をお家の人と作ってみました。割れる音も何度も耳にしましたが、風船を苦労して折ったりねじったりしました。

また公園で、金魚すくいに使う“ぼい”を使ってボール運びをしました。ぼい・・・金魚すくいの時はぬれるとすぐ破れるのに、ピンポン玉をのせるだけではなかなかやぶれないことを発見。転がり落ちるボールを慎重に運んでみました。



9/13 中野区の中央公園から平和の森公園までを追跡サインを頼りに歩いてみました。途中の公園では宝さがしのゲームや公園の音を探したりしました。宝さがしはちょっと難しかったけれど、それぞれが頑張りました。今回は平和の森公園に到着がお昼の時間だったのですぐに解散になりましたが、広い公園だったので本当はみんなでもっと遊べたらよかったです。コロナ感染拡大対策のためですが、



「新しい日常」の中でそろそろ一緒にお昼を食べる活動にも広がっていきそうです。解散後は、水辺でメダカを捕まえたり、公園の遊具で遊んでいるスカウトたちでした



9/27 スカウトの日の活動として、「かんしゃのきもち」をテーマに、いつも使っているもみじ山公園のごみ拾いをしました。きれいだと思っていた公園も気にすればたくさんのごみが落ちていました。スカウト、保護者のみなで一糸懸命ごみ拾いを頑張りました。その後は、公園の自然物を探したり、葉っぱを並べるゲームをしました。たくさん遊びができるもみじ山公園に感謝です。これから秋づいていくもみじ山公園での活動も楽しみです。



SDGs（持続可能な開発目標）についてちょっとだけお勉強もしましたが、ちょっと難しかったかな？

カブ(CS)隊



9/6 組集会：毎年恒例 9月は環境プログラム。今年は森林保護として、テーマ“森の将来はまかせとけ！”です。

まずは自然と親しむためのネイチャーゲーム“カラーハンティング”。各組で渡された折り紙と同じ色の自然のモノを持ち寄ります。葉っぱや土、セミの抜け殻、白には鳥の羽根や花を見つけました。それからボーイスカウトと森林認証団体FSCとのコラボによるチャレンジ章“フォレストガーディアン”のプログラムに沿って、森の現状を学びました。なんと、3.5秒にサッカー場一面分の世界の自然の森が減少しているんだそうです！待ったなしです。その後、木から出来る製品、森と生活のつながり、森を守るためにみんなで出来る事について話し合い、組毎に発表しました。



9/13 組集会：環境プログラム。テーマ“森の将来はまかせとけ！”の続きです。この日の朝のゲームはもみじ山公園で生きものさがし。都心の公園なので特に珍しい生きものはなく、鳥、昆虫、池にいる亀、ザリガニ辺りなど見慣れた生き物たちでした。虫が好きなスカウトがいたらたくさん見つけられるけれど、詳しい子はお休みで、セミはセミ、チョウはチョウなどザックリとした回答でした。モンシロチョウやアゲハチョウなど見分けがつかない子がいなかったのが残念！その後、後半室内プロとして、数日前に届いた日本連盟作成のスカウトの日プログラムであるSDGsの発見ノートをベースに、環境について考えました。

今回のテーマである、開発目標の12.つくる責任つかう責任、13.気候変動に具体的な対策を、14.海の豊かさを守ろう、15.陸の豊かさを守ろう についてクイズに答えてながら学びました。

その後、①ゴミを減らすために出来ること。②環境を良くするために出来ることを考えました。

その後、①ゴミを減らすために出来ること。②環境を良くするために出来ることを考えました。

9/19 くまキャンプ（1日目）：カブスカウトからボーイスカウト(小6-中3)に上がる直前に、ボーイで本格化するキャンププログラムの練習の場として、くまスカウト(小5)のみが参加するキャンプです。テーマは、“はじめのいっほっ！”

当初7月に予定していましたが、コロナ感染拡大対策として延期。その後も宿泊プロの自粛が継続されていたので、0泊2日のキャンプを実施しました。場所は2往復を前提に中野から



片道1時間の距離として、みなとが丘公園品川区キャンプ場にしました。宿泊はしませんが、キャンプのプログラムを一通り予定し、到着してからの開所式、国旗掲揚、備品をリヤカーでみんなで運んで、ドームテントの設営、ナイフの使い方、まき拾い、マッチでの火起こし、野外調理。お昼はみんなで作ったカレーライスとサラダを美味しく食べました。やっぱり飯盒(はんごう)で薪の火で炊いたご飯は美味しかった！くまスカウトは、お客様で訪問するキャンプしか知らなかったけれど、初めて自分たちで生活の食住をまかなわ

SCOUTS
for **SDGs**

なければならぬキャンプとして、意識を新たにしました。心配された雨も1日目は全く降らず、みんな楽しくキャンプを体験することが出来ました。帰る間にキャンプ場の高台に登り、大井ふ頭のコンテナヤードと間近に迫る羽田空港からの飛行機を眺めてから帰りました。



9/20 くまキャンプ
(2日目)：みなとが丘ふ頭公園品川区キャンプ場に戻ってきたくまスカウトと後半のプログラムを開始。今回の目的はボーイスカウトのキャンプを体験することと、ボーイスカウトと世界的ナイフメーカーであるVICTORINOX(ビクトリノックス)とのコラボによるチャレンジ章“フィールドマスター”のプログラムに沿ってナイフの使い方をマスターすること。



1日目にナイフの出し方しまい方切り方など学んで、木を削る事を体験しました。今日は応用編として、①お昼のソーメンを食べるための箸作り(小枝探しから始めました) ②リーマー(穴あけ)を使って、木の板の名札づくり。③野外調理の時に、火を燃やすための小枝の薪をげずって、燃えやすくなることをチェック。④最後におやつリングを切ってリングとアップルティーを楽しみました。



楽しいくまキャンプも終わりが近づき撤営です。備品の片付けとキャンプ場の掃除をして、最後に2日間お世話になったキャンプ場へ“ありがとう”をみんなで言いました。ひとまわり大きくなったくまスカウトたちは、これから最後のカブ活動と、ボーイスカウトになるための月の輪プログラムを頑張ってくれるでしょう！



9/27 スカウトの日ハイキング
9月いっぱい取り組んで来た環境プログラム。テーマ“森の将来はまかせとけ！”の締めくくりとして、高尾山へハイキングに行きました。スカウトの日は、9月の第3日曜日に全国のスカウトが地域でのゴミ拾いなど奉仕活動を展開する取り組みです。1週遅れですが「環境保全」をテーマとした“スカウトの日&カントリー&森林愛護ハイキング”としました。数日前から雨の予報が不安でしたが、小雨決行を早々に決めて集合。各組毎に自然観察のクイズを解きながら6号路から山頂を目指します。途中、弘法大師を祀っている岩屋大師や滝行の琵琶滝などを通り、生き物を探しながら、川を渡ったり中を歩いたりして山頂へ。遅れた子もいましたがみんな無事登頂。前週の連休は大渋滞だったみたいでしたが、この日は雨予報だったので空いていました。カブ弁を食べてから、高尾ビジターセンターさんで森と生き物のつながりについて教えてもらいました。今月の課題のチャレンジ章“フォレストガーディアン”の取得に向けてみんな熱心に聞いていました。



次にもう一つの目的、高尾山の森の清掃活動を開始。まずはくおそうじ小僧と記念撮影。最近のマナーが良くなってゴミが少ない高尾山でしたが、みんな小さいゴミも逃さず競って拾いながら、山頂からつり橋の4号路、1号路を降りました。集まったゴミを前に、ちょ

っとは高尾の森のお役に立ったかな？ がんばったご褒美に、フォレストガーディアン章とスカウトの日の缶バッジを手にして、目いっぱいを経験をした一日は終わりました。



ボーイ(BS)隊

9/6 オンラインで班会議をしました。夏休み中の過ごし方について情報交換をした後、キャンプ中の食事について学び、9月に行うキャンプで作ってみたい食事メニューを考えました。その後、10月のハイキングの内容について話し合いました。



9/20-9/22

2泊3日のキャンプの予定でし

たが、宿泊が解禁されなかったため、3日間連続のデイキャンプ（泊まらず通うキャンプ）を行いました。八王子にあるひよどり山キャンプ場で、1日目はA型テントの立て方、立ちかまどの作成、2日目はテントの乾燥方法や地図の読み方の実践としてミニハイク、3日目はコンパスの使い方などを学びました。

9/27 班長訓練を

行いました。10/4に実施するハイキングの内容について確認しました。具体的にどの道を歩くのか、どのくらい時間がかかるのかをイメージしました。ハイキングに備えて、コンパスの使い方をも再確認しました。



ベンチャー(VS)隊

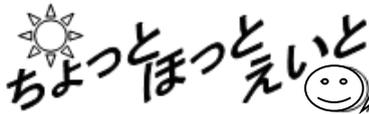
9/6 オンラインで隊会議を開催しました。9月の連休をターゲットにしたキャンプの計画を立てました。

9/20-9/22 「自ら立てた計画にもとづいてキャンプを行いました」となる筈でしたが、キャンプ許可がおりず、ボーイ隊と同様に日帰りのプログラムとなりました。ボーイ隊のよき見本として、少人数・短時間でA型テントを建てたり、頑丈な立ちかまどを作って見せたりしました。



9月のスカウト進歩情報

BVS :	T. I. くん	小枝章6本目
	N. N. さん	小枝章2, 3本目
	S. I. くん	小枝章3本目
	M. S. さん	小枝章2本目
CS	H. O. さん	チャレンジ章「園芸家」
	M. M. さん	チャレンジ章「セーフティエキスパート」「フィールドマスター」「フォレストガ－ディアン」
	R. U. くん	チャレンジ章「フィールドマスター」「フォレストガ－ディアン」
	Y. O. くん	チャレンジ章「フィールドマスター」「フォレストガ－ディアン」
	R. K. くん	チャレンジ章「フィールドマスター」「フォレストガ－ディアン」
	K. K. くん	チャレンジ章「フィールドマスター」「フォレストガ－ディアン」
	E. S. くん	チャレンジ章「フィールドマスター」「フォレストガ－ディアン」
	Y. S. くん	チャレンジ章「フィールドマスター」「フォレストガ－ディアン」
	M. S. さん	チャレンジ章「フィールドマスター」「フォレストガ－ディアン」
	Y. S. さん	チャレンジ章「フィールドマスター」「フォレストガ－ディアン」
	R. T. さん	チャレンジ章「フィールドマスター」「フォレストガ－ディアン」
	H. T. さん	チャレンジ章「フィールドマスター」「フォレストガ－ディアン」
	I. T. くん	チャレンジ章「フィールドマスター」「フォレストガ－ディアン」
	N. T. くん	チャレンジ章「フィールドマスター」「フォレストガ－ディアン」
	N. N. さん	チャレンジ章「フィールドマスター」「フォレストガ－ディアン」
	J. H. くん	チャレンジ章「フィールドマスター」「フォレストガ－ディアン」
	J. Y. くん	チャレンジ章「フィールドマスター」「フォレストガ－ディアン」
	K. K. くん	チャレンジ章「フォレストガ－ディアン」
	S. O. さん	チャレンジ章「フォレストガ－ディアン」
	R. K. くん	チャレンジ章「フォレストガ－ディアン」
	K. H. さん	チャレンジ章「フォレストガ－ディアン」
	H. W. くん	チャレンジ章「フォレストガ－ディアン」
	H. Y. くん	チャレンジ章「フォレストガ－ディアン」
	S. O. くん	チャレンジ章「フォレストガ－ディアン」
	B. K. くん	チャレンジ章「フォレストガ－ディアン」
	K. S. くん	チャレンジ章「フォレストガ－ディアン」
R. T. くん	チャレンジ章「フォレストガ－ディアン」	
A. T. くん	チャレンジ章「フォレストガ－ディアン」	
T. Y. くん	チャレンジ章「フォレストガ－ディアン」	



活動で見つけた
ほのぼの話

コロナ感染拡大の状況を見据えながら、だんだん活動が活発化できるようになってきました。9月には、カブ隊くまスカウト、ボーイ隊、ベンチャー隊がそれぞれ久しぶりにキャンプを行いました。しかしまだ宿泊はできず、それぞれ0泊2日、0泊3日と通いのキャンプになりました。

テントで宿泊することがキャンプの醍醐味！それができないのは残念な状況です。今後は体制を確保した上で少しずつ宿泊もできるようになりそうですが、それでもしばらくは「ソロテント利用」。つまりテントは1人で寝ることになりそうです。早く今までと同じような形でキャンプができるようになることを期待したいですね。普段の生活もこれまでとは違う状況が定着してきていますが、みんなで力を合わせて乗り越えていきましょう。



リーダーの活動

- 9/2 CSくまヶッ下見
- 9/3 地区円卓会議
- 9/6 団会議
- 9/13 CSくまヶッ下見
- 9/15 東京連盟指導者養成委員会
- 9/16 WB 研修所所員会議
- 9/18 地区委員会
- 9/20 東京連盟中途退団抑止セミナー
- 9/26 地区 BS 講習会打ち合わせ
- 9/26 BVS/CS ハイキング下見
- 9/28 地区コミッション会議

* 活動の写像是ホームページにアップされています。
 * 個人情報保護の為パスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上アクセスして下さい。
 (なかなか更新できなくてすみません)
<http://bsn8.world.cocacn.jp/>

スカウト豆知識

「女子ボーイスカウトとガールスカウト」

女子がボーイスカウトに入隊していると言うと「女の子だからガールスカウト？」と言われることがありますが、そうではありません。活動の基本に「やくそく」と「おきて」があり、よき社会人となることを目的としているのはボーイスカウトと同じですが、ガールスカウトは別個の組織です。

ベーデン＝パウエル卿 (B=P) がスカウト運動を提唱したのは約 110 年前。その頃、男女が一緒に活動することはなく、スカウトは男子のみを対象としていました。しかし、女子たちも同じような理念で活動したいと思うようになり、B=P 卿の妹アグネス・ベーデン＝パウエルがガールガイドを発足させました。その活動がアメリカにわたりガールスカウトが始まりました。今でも国によってはガールガイドと呼ばれています。基本的にはガールスカウトも B=P 卿を創始者ととらえています。日本では 1920 年から活動が始まりました。地域により状況は違いますが、きょうだい活動と言えます。ボーイスカウトの祭典・ジャンボリーにはガールスカウトも参加します。活動に大きな差はありません。

男女平等の世の中になるに従い、ボーイスカウトは女子を受け入れるようになりました(団の方針として女子受け入れをしていない団も存在します)。しかしガールスカウトは、ボーイスカウトの目標「よき社会人の育成」に加え「自立した女性の育成」という目標も持っているため、受け入れの対象は現在でも女子のみです。なお、ボーイスカウト日本連盟の英語名からはすでに Boy の語はなくなり、Scout Association of Japan という名前になっています。